



## 研究部会報告

### ●交通・流通システム●

#### ●第22回

日時：3月15日(水) 18:00~20:00

場所：東洋経済新報社(日本橋) 出席者：10名

テーマ：フリー・トーキング(今後のテーマ検討)

新年度の部会テーマとして、さまざまな種類のテーマが上げられた。(1)消費税導入後の流通機構、(2)カード時代の流通、(3)旅行業のマーケティング、(4)リゾート地と交通、(5)海底都市・地中海都市・ウォーターフロント・汐留計画等の開発計画、(6)英仏トンネル、(7)海運、(8)大深度地下鉄などが上げられたが、会員の努力により早速、(2)、(3)から実現することになった。

#### ●第23回

日時：4月19日(水) 18:00~20:00

場所：同上 出席者：6名

テーマと講師：「川下物流の展開」忍田和良(日通総合研究所)

川下主導の物流体制の例として、コンビニエンス・ストアやスーパーなどが問屋に対して小分け納品、値付け(問屋が値札を付ける)など、フレキシビリティの高い対応を求めている現状がある。これからは、物流業界主導での体制づくりは困難になってきており、個人消費、単独世帯の増加による小ロット化、ナイトライフの定着による24時間受注体制などに適応していかなければならない。

### ●経営管理システム●

#### ●第14回

日時：5月6日(土) 14:00~17:00 出席者：11名

場所：中央区八丁堀 東京都勤労福祉会館

テーマと講師：「M&A(合併と買収)の決定的瞬間」樋爪 徹(山之内製薬株)

M&Aは欧米において近年盛んになり、日本においても徐々に定着しつつあります。友好的なM&Aでは、研究開発や市場の開拓の時間の節約や新分野への展開に相当の効果をあげる場合が多いようです。本年春に山之内製薬が成功した大型のM&Aの経緯を含めて、最近のM

&Aの実情について解説していただきました。

### ●システム・ダイナミックス●

#### ●第13回

日時：5月15日(月) 17:45~20:15 出席者：15名

場所：明治大学駿河台校舎研究棟第3会議室

テーマと講師：「地域政策とシステム・ダイナミックス：展望と課題」安田八十五(筑波大学)

第1次オイル・ショックの前後から、兵庫ダイナミックスをはじめ、わが国の各地で開発が進められた地域SDモデルを跡づけ、複雑システムとしての都市・地域モデルの行動特性について、また今後の課題として地球環境問題へのSDの貢献などが報告され、開発からおよそ15年、わが国地域モデルの検証の必要性が議論された。

#### ●第14回

日時：6月19日(月) 17:45~20:30 出席者：12名

場所：明治大学駿河台校舎研究棟第4会議室

テーマと講師：(1)「グローバル・モデリング」大西 昭(創価大)

世界モデルの構想、開発の経緯、柔軟な方法論、FUGI(Future of Global Interdependence) TYPE Vモデルとシミュレーション・シナリオ、各国世界モデルの開発の現状等について熱心な報告と質疑がかわされた。

(2) 日本生産性本部よりSD研究部会への委託研究について主査より説明がなされた。

### ●最適化とその周辺●

#### ●第20回

日時：5月26日(金) 14:00~17:00 出席者：15名

場所：住友2号館6階会議室

テーマと講師：(1)「近傍探索法における解の良さの推定法」中野秀男(大阪大学) 組合せ最適化問題に対する近傍探索法において、解の値の変化をフローモデルとして捉え、得られたデータから解の値の変化の遷移確率を推定することにより、最終的に得られる解の良さを推定する方法を解説した。

(2)「ジョブショップ型多品種多段階生産計画問題に対する実用的解法」中川義之(住友金属) 鉄鋼生産工程のスケジューリングにおいて、ネック工程から順にロットの作業順序を決定してゆくSSA法(Stage by Stage Assignment)の解説を行なった。